

# 錦上添花

錦ヶ丘中学校  
学校便り  
5月27日発行 NO.6  
文責 出崎 友英

## 積み重ねること

5月20日は、体育大会でした。

この日に向けて、全校生徒で練習や準備、話し合いなどを重ねてきました。本番、ただ一度きりのために、何度も何度も繰り返し、練習を積み重ねてきました。

あらためて考えてみると、私たちはただ一度の本番のために何度も練習を積み重ねることがあります。体育大会のよさこいやダンスがそうだし、学年競技もそうです。やがて来る合唱コンクールや、部活動での試合や発表もそうです。そのような経験を通して、私たちは積み重ねていくことの大切さを学んでいくのだと思います。



先日、三浦雄一郎さんの手記を読みました。

三浦さんは、世界7大陸の最高峰をスキーで滑り降りるという快挙を達成するなど、プロスキーヤーとして活躍した人です。

## 体育大会がありました。

5月20日(金)は**体育大会**でした。暑さをとても心配していましたが、曇り空から時折小雨が降る天候でした。

次々に繰り広げられる競技での一生懸命な姿。3年生の集団演技の力強さ、躍動感。仲間を励ます声。係の仕事に取り組む姿。たくさんの名場面がありました。

生徒の皆さん、先生方、おつかれさまでした。ご観覧の保護者の皆様ありがとうございました。そして、会場までの生徒たちの安全を見守っていただいたPTAサポーターの方々、本当にありがとうございました。



しかし、三浦さんは60歳を越えた頃に暴飲暴食の生活におちいり、体調を崩してしまいます。気がつけば、「昔はこうだった…」という自慢話しかできないようになった三浦さん。「このままではいかん。」と一念発起して、若い頃からの夢であったエベレスト登山をめざします。

その時三浦さんは65歳。背中に20kgの荷物を背負い、両足には2kgのおもりをつけての2時間のウォーキングというトレーニングを5年間続けます。

そして、三浦さんは70歳で念願のエベレスト登頂を果たしたのです。三浦さんは語ります。

**「登山でも何でも、一足飛びに目標をクリアするのは無理です。毎日少しずつ自分の限界を乗り越えていく、その地道な積み重ねが目標達成の秘訣です。エベレストの山頂を極めるにも、歩幅わずか数10cmの歩みを積み重ねて到達するのです。」**

その後、75歳で再登頂、そしてさらに80歳での史上最高齢エベレスト登頂の偉業を達成されるのです。

体育大会で見たあのすてきなパフォーマンスは、君たちが地道に練習したり、考えたり、悩んだり、話し合ったりといったことをひとつひとつ積み重ねたからこそ、到達できたのです。

次も、三浦雄一郎さんの言葉です。

**「人間大事なのは、やる気、勇気、あきらめないことだと思います。これが出来たら素晴らしいという夢があれば、そして本当にあきらめなければ夢を達成できると思うのです。」**

## お知らせ・お願いです。

○5月26日(木)から**教育実習**が始まりました。

本校では4人の実習生がこれから2週間あるいは3週間の教育実習に取り組みます。自分の教育実習を振り返ると、とてもきつくて(こんなことを仕事でやるのは絶対無理だ…)と思いながら取り組んでいたことを思い出します。この教育実習での生徒や先生方との関わりを通して、「教師になりたい」という志を高めてくれることを期待しています。



実習生の皆さん、頑張ってください。

○**マスクの着用**について、文部科学省からの通知がありました。これからの暑い時期の熱中症への対応もあり、人との距離が確保できる場面や、会話をほとんどしない場面等では、マスクを着用しなくてもよいことが示されています。学校のホームページに、マスク着用に関するリフレットを掲載しましたのでご覧ください。

昨日の自分を今日越えよう。  
今日の自分を明日越えよう。

「先生のコトバ集」より